

ソフトバンクのモビリティ戦略（～2030年）

【概要】

本調査では、自動車業界におけるソフトバンクのポジションと重要性についてまとめています。同社の自動車技術関連企業への投資や支援する主要企業間での統合に焦点を当てて、同社が自動車戦略の主要な影響力になる可能性について分析します。また、同社の事業における課題と自動車業界への影響についても説明しています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2030年までです。

【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

調査の範囲、目的、手法、セグメンテーション

ソフトバンクの企業概要と投資ファンド

- ソフトバンクの企業構造
- ビジョンファンド 1.0
- ビジョンファンド 1.0 投資ポートフォリオ
- ソフトバンクの財務実績

自動車業界におけるソフトバンクの技術投資

- 自動車投資の概況
- 地域別自動車投資
- 世界の共有モビリティへの影響
- 共有モビリティにおいて M&A を推進する背景
- サービスプラットフォームとしてのオンデマンドモビリティのための MONET：2030年
- 自動車の未来への関与
- 自動車技術への最大の投資：Uber のケーススタディ
- 自動車技術への最大の投資：Didi Chuxing のケーススタディ
- 自動車技術への最大の投資：ARM ケーススタディ
- 自動車技術への最大の投資：Grab のケーススタディ
- 自動車投資の IPO タイムライン
- 人工知能への投資
- ビジョンファンドの現在のポートフォリオと将来の投資機会
- 課題

ソフトバンクビジョンファンドおよびその他の投資ファンド

- ビジョンファンド 1.0：ポートフォリオのパフォーマンス
- ビジョンファンド 1.0：財務概況
- ビジョンファンド 1.0：グローバル投資
- ラテンアメリカイノベーションファンド
- ビジョンファンド 2.0

・フューチャーベンチャーキャピタルファンド：2021～2030年

成長機会と企業への提言

結論と将来の展望

付録